

官民特別セッション

開会挨拶及び製造業安全対策官民協議会の
5つの主な検討事項と新たな取組事項等

製造業安全対策官民協議会会長

一般社団法人 セメント協会

太平洋セメント株式会社 取締役 専務執行役員 苅野 雅博

製造業安全対策官民協議会のこれまでの 主な取組の概要と今後の役割

- 製造業安全対策官民協議会の設立
→ 2017年3月 **官民が連携し、経営層による参画**のもと、業界の垣根を
超えた**横断的な取組**を行う。

協議会の構成メンバー

- 石油連盟 ● (一社) セメント協会 ● (一財) 素形材センター ● (一社) 日本アルミニウム協会
- (一社) 日本化学工業協会 ● 日本鋳業協会 ● (一社) 日本自動車工業会 ● (一社) 日本伸銅協会
- 日本製紙連合会 ● (一社) 日本鉄鋼連盟
- 厚生労働省 ● 経済産業省 ● 中央労働災害防止協会 (10団体 3 機関)

- 今後の役割
→ **設立から5年目** 確実にステップアップし、その**役割は益々重要**。

「神戸宣言に基づく取組計画」への第4回アドバイザリーボード(R3.9.27)の結果概要

4つの経営理念等	構成員の主な取組	主なアドバイス
1 経営層のリーダーシップ 2 安全への投資の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●会長トップメッセージの発出 ●業界としての基本方針の制定 ●社長会、理事会、労働安全衛生部会等の開催 ●業界としての年間安全衛生推進計画の策定 ●レスポンシブル・ケア（RC）活動の実施 ●スマート保安への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ●企業のトップも含めて全員参加のムードを作ることが大切。 ●個社に任せるのではなく、業界団体がリーダーシップを取って、業界全体で進めるとよい。 ●業界団体としての意見交換ができる場があるとよい。 ●レスポンシブル・ケア（RC）活動をPRし、広く展開していただきたい。
3 安全人材の育成や安全教育の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ●「産業安全塾」、各種研修会のオンライン開催 ●経験年数の浅い作業員への安全対策の取組 ●業界共通の設備安全基準の検討・制定、業界共通の安全衛生教育体系の検討・制定、合同安全パトロールの実施 ●会員企業の実情に併せ左記1～3を安全衛生年間計画に織り込み実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●「産業安全塾」の産・官・学で安全が分かる将来の経営層・管理者を育成する取組は他業界でも参考にしてほしい。 ●業界共通の設備安全基準の制定、業界共通の安全衛生教育体系の制定、合同安全パトロールの実施は有用である。 ●安全の資格制度のようなものを取り入れてインセンティブを与えるようなことは有用である。
4 業界内外への共有	<ul style="list-style-type: none"> ●安全衛生大会、安全衛生分科会、管理監督者体験交流会、現地安全情報交換会等の開催（オンライン開催） ●安全重点方針の策定 ●安全衛生表彰 ●安全統計の作成・分析 ●災害事例の水平展開（団体のホームページで会員企業に公開。検索機能付き） ●労働災害防止のためのAI、IoT等技術の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ●現地安全情報交換会等の勉強会に現場レベルだけでなく企業のトップレベルにも行うとよい。 ●安全表彰受賞事業所の活動事例を集めた「ベストプラクティス集」に学ぶことはよい取組である。 ●強度率が平均より高い場合は、機械・設備の本質安全化対策を図る。他業界の取組を参考にし取り組んでいただきたい。 ●災害事例や統計の分析結果の共有は重要であり、優れた解析方法を行っている団体の情報共有をするとよい。 ●ICT、AI、IoTを活用した安全対策の情報共有を進めるとともに、技術活用を進めてほしい。
5 新型コロナ感染症対応	<ul style="list-style-type: none"> ●情報収集等（会員企業アンケート調査、関係省庁に要望書の提出） ●職場環境への対策（感染対策チェックリスト、作業服通勤を認める、オンライン会議・研修、パーティションの設置、感染者発生時の体制等） ●健康管理（ワクチン接種対応、感染者対策、熱中症対策等） 	<ul style="list-style-type: none"> ●体系的に整理し終始取り組みを行う考えは参考になる点が多い。 ●各団体が行っている取り組みは貴重な情報であるので共有化していくことが重要。

次ページに拡大

<総括>





- 神戸宣言は、業界団体のトップが集まって議論した宣言であり、この宣言に基づいたアドバイザリーボードを行うのは素晴らしい行動である。各業界でも企業のトップが集まり、各業界で宣言を行うことをすれば、各業界のまとまりがよくなっていくのではないかと。
- 他業界の好取組を学ぶ場は、非常に有意義なことであり、本日の好事例を参考にし、取組を進めていただきたい。
- 安全の確保の上では経営トップの役割は大事であり、コロナの状況が落ち着いたなら、トップ会談の可能性について検討してほしい。
- 各団体の共通する検討課題について官民協議会として対応するとよい。

第4回アドバイザリーボード(R3.9.27)の総括

- 神戸宣言は、業界団体のトップが集まって議論した宣言であり、この宣言に基づいたアドバイザリーボードを行うのは素晴らしい行動である。各業界でも企業のトップが集まり、各業界で宣言を行うことをすれば、各業界のまとまりがよくなっていくのではないか。
- 他業界の好取組を学ぶ場は、非常に有意義なことであり、本日の好事例を参考にいただき、取組を進めていただきたい。
- 安全の確保の上では経営トップの役割は大事であり、コロナの状況が落ち着いたら、トップ会談の可能性について検討してほしい。
- 各団体の共通する検討課題について官民協議会として対応するとよい。

製造業安全対策官民協議会

5つの主な検討すべき事項

1. 異業種トップ座談会の実現 ⇒ 実施済み
2. 安全管理体制強化のため、労働安全衛生マネジメントシステムのJIS策定への協議会の関与 ⇒ 実施済み  向殿チーム
3. 安全投資促進のため、リスクアセスメントの標準手法の開発、及び設備点検・補修・更新基準の共通化 ⇒ 継続  向殿チーム
4. 安全対策の経済効果と社会的評価 ⇒ 継続  田村チーム
5. 産業界における安全教育の体系的プログラムの策定 ⇒ 継続  田村チーム
6. デジタル技術を活用した安全対策事例の収集と現地視察の実施 ⇒ 継続
7. 労働安全衛生マネジメントシステム動向の把握 ⇒ 継続

製造業安全対策官民協議会

コロナ禍にあっても官民協議会の活動を継続

⇒2020年度より官民協議会のすべての会合をオンラインで開催

リモート勉強会の開催

開催日：2021年3月15日

内容：「職場で取り組む新型コロナ対策」

講師：産業医科大学医学部 免疫学・寄生虫学 清水 少一先生

参加者：官民協議会構成員、構成団体、各団体の会員企業、有識者、
経済産業省、厚生労働省等

概要：職場におけるコロナ対策の目的、感染対策の考え方、マスクの素材による性能の違い、熱中症対策とマスク着用の両立、事業継続計画(BCP)、「コロナうつ」の予防、患者発生時の対応例、コロナから復職時の注意点、誤った情報・対策の例、ワクチン効果と副反応等をご講演いただいた。



製造業安全対策官民協議会

本日のプログラム

東京大会 官民特別セッション

日時：2021年10月28日（木） 10:00～11:45

○ 開会挨拶及び官民協議会の5つの主な検討事項と新たな取り組み事項等

製造業安全対策官民協議会会長（一般社団法人セメント協会）

太平洋セメント株式会社 取締役 専務執行役員 荻野 雅博

○ サブワーキンググループ（向殿チーム）の検討・今後の方向性

明治大学 名誉教授 向殿 政男

○ サブワーキンググループ（田村チーム）の検討・今後の方向性

東京大学 名誉教授 田村 昌三

国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門
爆発利用・産業保安研究グループ 主任研究員 牧野 良次



引き続き

製造業安全対策官民協議会

パネルディスカッション：コロナ禍で経営者が考える安全衛生の人づくり

パネリスト

製造業安全対策官民協議会会長（一社 セメント協会）

太平洋セメント株式会社 取締役 専務執行役員

苅野 雅博 氏

東京大学 名誉教授

田村 昌三 先生

厚生労働省労働基準局 安全衛生部長

武田 康久 氏

経済産業省 大臣官房審議官（製造産業局担当）

新川 達也 氏

中央労働災害防止協会 理事長

竹越 徹 氏

モデレーター

明治大学 名誉教授 向殿 政男 先生

- 本日の官民特別セッションの内容が、皆様の事業場の安全衛生活動の向上に資することを期待。
- どうぞよろしくお願いいたします。